

プレスリリース

2009 年 12 月 14 日

聖マリアンナ医科大学発ベンチャー株式会社ナノエッグ、 アンチエイジング化粧品 300 本を高齢者施設に寄付

12 月 24 日、「美」のクリスマス・プレゼント

開発ポリシー「大学の知を 100%以上世の中に還元すること」
に基づく社会貢献活動の一環

聖マリアンナ医科大学発のベンチャー企業、株式会社ナノエッグ（本社：川崎市、代表取締役社長：大竹秀彦、以下ナノエッグ社、<http://www.nanoegg.co.jp/>）は、高齢者の QOL（生活の質）向上をめざし、同社が製造・販売する美容液「MARIANNA（マリアンナ）ナノキューブエマルション 120ml」300 本を、高齢者施設に寄付します。美容液は、首都圏を中心に有料老人ホーム「アズハイムシリーズ」を運営する株式会社アズパートナーズにクリスマス・イブの 12 月 24 日、下記の要領で贈呈され、その後、東京・横浜・川崎の計 7 ヲ所の高齢者施設の入居者に無料で配布される予定です。

今回、寄付する美容液には、ナノエッグ社が物理学の発想を応用して開発したジェル状物質「ナノキューブ」が含まれています。「ナノキューブ」には肌の自然治癒力を高める作用があります。しかし、「ナノキューブ」は本来、医薬におけるドラッグデリバリーシステム（DDS）を目的として開発された素材で、将来「塗るワクチン」への応用が期待されています。「塗るワクチン」が実現すれば、医療設備が整わず注射器が使えない環境下でも、安全に低コストでワクチン接種が可能となります。現在、ナノエッグ社は、「ナノキューブ」を応用した独自ブランドのスキンケア化粧品「MARIANNA」シリーズを販売し、その売上により「塗るワクチン」の実現に向け研究開発を進めています。

設立当初からナノエッグ社は、「大学の知を 100%以上世の中に還元すること」を開発ポリシーに掲げ、研究とともに社会貢献活動にも力を入れています。現在、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る認定 N P O 法人にも売上の一部を寄付しています。詳細は URL：<http://www.nanoegg.co.jp/jcv/vaccine.html>

記

「マリアンナナノキューブエマルション 120ml」の贈呈式 概要

■日時：12月24日（木）午前10時～11時

■場所：株式会社アズパートナーズ

東京都千代田区有楽町2-2-1ラクチョウビル8階

代表電話03-3573-1125

■寄付本数：300本

■出席者： 株式会社アズパートナーズ 代表取締役 植村健志
株式会社ナノエッグ 代表取締役社長 大竹秀彦

【アズパートナーズとは】

<http://www.as-partners.co.jp/> 代表取締役 植村健志

介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、通所介護（デイサービス）、訪問介護、居宅介護支援の介護サービスを提供。

【株式会社ナノエッグとは】

<http://www.nanoegg.co.jp/> 代表取締役社長 大竹秀彦

聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター発のベンチャー。医薬品、医薬部外品、化粧品、基剤等の開発、製造、販売を行う。

本件に関するお問い合わせと贈呈式取材のご希望は、下記の広報担当者まで
お願い申し上げます。

ナノエッグ広報代理エンカツ社

担当：宇於崎（うおざき）または渡部（わたなべ）

Tel:03-5776-2566 FAX:03-5776-2567 e-mail: press@enkatsu.jp

添付資料

ナノエッグ 基本情報

【株式会社ナノエッグとは】

株式会社ナノエッグ（代表取締役社長 大竹秀彦、所在地 神奈川県川崎市、
<http://www.nanoegg.co.jp/>）は 2006 年 4 月、大学の研究成果を実用化することを目的に、聖マリアンナ医科大学発ベンチャーとして創業。

同大難病治療研究センターとの共同研究体制のもとで、医学・薬学・物理学の融合により、ナノカプセル化技術「ナノエッグ®」とジェル状外用基剤「ナノキューブ®」を使った新規経皮伝達システムの開発に成功。

企業理念は“「真の健康と美しさ」を目指すサイエンス創造”、ビジョンは“ライフサイエンス分野における科学的根拠と冒険的発想に基づくテクノロジーの創出と育成”。

創業者の一人で取締役・研究開発部長の山口葉子（理学博士、専門は物理学）をはじめ多くの女性研究者が開発を担う。2009 年 12 月現在、従業員 21 名、うち女性 12 名。

【「ナノエッグ®」とは】

化合物（薬効成分）をテンプレートにし、無機質でコーティングするカプセル化技術。ナノオーダーサイズの中に成分をほぼ 100%閉じ込めることができるため、成分の安定性や経皮透過性を高めることができる。創業のきっかけとなった技術であり、社名の由来でもある。

【「ナノキューブ®」とは】

株式会社ナノエッグが物理学の発想に基づき開発したジェル状外用基剤。「ナノキューブ®」を基剤として配合することにより、従来不可能だった高分子量の薬物や水溶性薬物の、高い効率での経皮吸収が可能となった。医薬品、医薬部外品、化粧品へ応用可能。

また、ジェル状外用基剤「ナノキューブ®」そのものには、皮膚の自己治癒力（ホメオスタシス）を引き出す特性がある。「ナノキューブ®」を肌に塗ると角層の細胞間脂質に作用し、液晶状の細胞間脂質の構造が瞬間的に変化し、すぐにもとの状態に戻る。この“構造が瞬間的に変化する刺激”で、眠っていた肌本来の力が目覚め、自己治癒力が高まる。

「ナノキューブ®」は株式会社ナノエッグの登録商標。

【「マリアンナ (MARIANNA)」とは】

株式会社ナノエッグが2007年7月から販売を開始したスキンケア化粧品シリーズ。名前は、ナノエッグの本拠地であり、また株主の一つでもある聖マリアンナ医科大学に由来する。

「マリアンナ」はナノエッグが開発したジェル状外用基剤「ナノキューブ®」を配合。「ナノキューブ®」がスキンホメオスタシス（肌の自己治癒力）を引き出すことで皮膚再生を誘導。シミ・しわの改善を促す。

「マリアンナ」は、有効成分を肌に与えることではなく、肌本来の自然治癒力に着目したところが新しい。

株式会社ナノエッグは、科学的な実証（エビデンス）に基づく化粧品の総称として「サイエンス・コスメ」を提唱。「マリアンナ」をこの「サイエンス・コスメ」と位置付ける。

【スキンホメオスタシスとは】

ホメオスタシスは二つのギリシャ語、ホメオ＝同一、スタシス＝平衡状態・持続、が語源で、平衡維持力、恒常性と訳される。生物が体内環境を一定範囲に保つ働きのこと。

スキンホメオスタシスとは、肌が本来持っている、肌を元の状態に戻そうとする自己治癒力をさす。